

県立新アリーナにeスポーツ対応施設の整備を求める意見書

奈良県が橿原市に計画する新アリーナにおいて、将来性の高い分野である「eスポーツ」対応施設の整備を積極的に行うことを求める。

eスポーツは世界的に注目を集める競技であり、国内外で多くの大会が開催されている。しかし、奈良県内には本格的なeスポーツ施設が少なく、新アリーナが先駆的なモデルとなる可能性がある。また、橿原市は株式会社カプコンと包括連携協定を結んでおり、県内ではeスポーツの拠点として最もふさわしいと考える。

若者の居場所づくり、デジタル人材の育成、観光誘致といった複数の施策と連動可能で、来場者による地域経済の活性化や若年層を中心とした新たな文化交流の拠点として、奈良県の活性化と未来志向のまちづくりに資するものと期待される。

新アリーナがスポーツのみならず、あらゆる世代が集い、学び、楽しめる多機能な施設として整備されることを願い、未来志向のインフラとして、eスポーツ対応施設の整備を検討し、次の事項について基本設計に盛り込むよう要望する。

1. eスポーツイベント開催に対応した高速インターネット環境（光回線・無線LAN・5G）を整備すること。
2. 観戦型イベントに対応した大型スクリーン、音響設備、ステージ照明、可動型客席を導入すること。
3. ゲーミングPCやコンソール機器の設置を想定した電源・冷却・机配置のインフラ設計をすること。
4. 地元高校・大学・企業・団体等との連携によるeスポーツ大会の開催支援の仕組みを構築すること。

以上、地方自治法99条の規定により、意見書を提出する。

令和7年6月26日

橿原市議会

《送付先》奈良県知事